

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 13日

事業所名:児童発達支援センター 通園ありんこ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		事業を行うための適切なスペースを確保しています。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○		定められた有資格者を適切に配置しています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		環境を整えています。視覚シンボル等で、情報伝達をしています。	必要に応じ、個別の伝達方法も用いて、子ども達が戸惑うことなく生活できるよう努めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		清潔でゆったりとした環境を心掛けています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		職員全体で子どもの姿を把握し、支援の振り返り、反省を行い、次の支援につなげています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		法人ホームページにて公開しております。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者による評価はまだ実施できていないので、検討していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			年間研修予定を立て、学習の機会を確保していきます。
適切な支援の提	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		アセスメントを基に保護者のニーズや課題を客観的に分析し、児童発達支援計画を作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		標準のアセスメントシートを活用しています。	
	12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		子どもの姿を把握し、適切な支援内容の設定に努めています。	
	13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	○		職員全体で支援内容を確認しています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		職員全体で、案を出し合い、子どもの姿と照らし合わせ行っています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		子ども達の発達に添ったプログラムの設定に努めています。	
	16	(放課後等デイサービスのみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか				

児 供	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎日朝礼を行い、予定・役割を確認し、連絡事項の伝達を行っています。	
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		夕礼で子どもの様子を振り返り、日々の支援の反省を行っています。	
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日誌、個人記録を毎日記録しています。	今後も日々の記録を徹底し、検証を行い、改善に努めていきます。
	21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的に児童発達支援管理責任者が中心となり、モニタリングを行っています。	
	22	(放課後等デイサービスのみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか				
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者が主に出席しています。	
	24	(児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		各市町の母子保健関係機関と連携し、支援を行っています。	
	25	(放課後等デイサービスのみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか				
	26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	27	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	28	(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		必要に応じ、子育て推進課、保育所、幼稚園支援学校と情報の共有を行っています。	今後も情報共有と相互理解を図っていきます。
	29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		教育委員会、支援学校と情報の共有を行っています。	今後も情報共有と相互理解を図っていきます。
	30	(放課後等デイサービスのみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか				
	31	(放課後等デイサービスのみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				
	32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		必要に応じ、情報共有を行っています。	

	33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		次年度の進路を見据え必要に応じ、見学、交流を行っている。	保護者のニーズも伺いながら、次年度の準備として見学、交流の機会を作っていきたいと思います。
	34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			今後も参加していきたいと思います。
	35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		登園、降園時または、面談において、発達の状況を伝え合っています。	
	36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		状況をみながら、保護者学習会を開催しています。	
保護者への説明責任等	37	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		年度初めに説明を行っています。	
	38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	○		面談を持ち、説明を行い同意を得ています。	
	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		随時対応できるようにしています。	個別の面談を含め、随時対応し、必要な助言を行っています。
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		状況をみながら、保護者会の開催を支援しています。	今後も状況を見ながら安全に開催できるよう支援していきます。
	41	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			今後も相談や申し入れについて、迅速かつ適切に対応していきたいと思います。
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月のたよりを月初めに発行。連絡は随時がみで発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			今後も十分注意していきます。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		視覚的な情報伝達と個別の伝達方法を模索しながらわかりやすい環境を心掛けている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			状況を考慮しながら、地域の方を招待するイベント等検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年に3回の訓練を実施しています。	今後も必要な訓練を実施していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		利用前の面談等で確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		アレルギー検査結果に基づき対応しています。	定期的な検査で、数値の変動を確認し、把握に努めています。
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット報告書を事業所全体で共有し、再発防止に努めています。	
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			

	52 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		利用開始前、年度初めに説明を行っています。
--	---	---	--	-----------------------

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。